

オリエンタルパサージュ横浜(神奈川県横浜市)

横浜駅西口の多層階店舗が最新設備で地域一番店目指す

横浜駅西口から徒歩1分という絶好の立地で13年前から営業を続ける『オリエンタルパサージュ横浜』が4月23日にリニューアルオープンした。店内外のデザインを一新し、最新設備を導入して西口エリアの一番店を目指す。



斬新なデザインでハイセンスなホールに生まれ変わった

横浜駅は1日に約120万人が乗降する日本有数のターミナル。『オリエンタルパサージュ横浜』はJR横浜駅西口から徒歩1分、市営地下鉄の出口の目の前という立地にある。道路の向かいには横浜高島屋。道の並びには横浜ベイシユエラトンホテルがそびえる。休日は買い物客で賑わう地域だ。

店舗は道路に面するビルの4フロアを使う多層階。総台数は470台。1階(4円129台)と2階(4円57台、1円88台)がパチンコで、3階(108台)と4階(88台)がパチスロという構成だ(パチスロは20円貸しのみ)。

店舗の裏側はオフィス街。平日の主要顧客はサラリーマン層で夜の稼働が高い。逆に休日は買い物客が多いため昼間の稼働が良いという。西口エリアでもファッシュビルや家電量販店、飲食店などが集積する「5番街」方面とは客層がまったく異なる。リニューアルにあたっては1円パチンココーナーを設け、平日昼間の稼働アップ



内装と設備機器を一新した店内

も狙った。松崎隆店長はリニューアルのコンセプトを「老朽化に伴う最新設備の導入と地域一番店を目指した営業改革」と語る。設備機器は大都販売がトータルコーディネートした。各フロアには大風量でマイナスイオンを送り出し店内の空気を攪拌する空気清浄機「Gサイクロン」を導入。「多層階店舗で換気が悪かった」という店内空気環境が大幅に改善された。玉補給と島、ホールコンピュータ、POS、



ジェットカウンターをはじめ設備機器は大都販売がトータルコーディネート



高稼働を支える大都販売の玉補給システム



マイナスイオン発生器で空気環境を改善。大型情報表示機で他店との差別化を図る

ジェットカウンターは大都販売の製品に統一してオペレーションの効率化を図った。メダル自動補給(JCMシステムズ)でスタッフの省力化も実現した。1円パチンコには各台計数システム(日本ゲームカード)も導入。全席に大型の情報表示器「ホットスタジアム」を備え、プレイヤーの利便性を高めた。「改装後は他店に負けない最新設備になった。これを武器にお客様に愛される地域一番店を目指します」(松崎店長)

[A]